2026年11月18日

各　　位

会 社 名　東邦ホールディングス株式会社
代表者名　代表取締役 社長執行役員 CEO　枝廣　弘巳
（コード番号 8129 東証プライム市場）
問合せ先　専務執行役員 経営戦略本部長　河村　真
（電 話　03－6838－2803）

自衛隊中央病院との大規模災害発生を想定した医薬品補給訓練実施のお知らせ

東邦ホールディングス株式会社（本社：東京都、代表取締役 社長執行役員 CEO：枝廣 弘巳）は、医薬品卸売事業完全子会社の東邦薬品株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：馬田 明）が、「令和８年度自衛隊中央病院 大量傷者受入訓練」に参加し、医薬品補給訓練を実施したことを下記の通りお知らせいたします。

記

１．実施の背景

自衛隊中央病院は、有事における「最終後送病院※」として大規模災害時に地域の災害拠点病院と同様の役割を果たす、災害医療・救命の最後の砦です。免震構造や屋上大型ヘリポートなどを備えて有事対応体制を確立しており、重症患者の受け入れや域外搬送を担う極めて重要な医療拠点として位置付けられています。

当社グループは、自然災害やパンデミックなどの緊急時においても医薬品等を安定供給することを社会的使命とし、事業継続計画（BCP）の推進を最重要課題の一つに位置付けております。

これまでも基幹システムの二重化や緊急時の相互補完体制の確立、最先端技術の導入による省人化物流センターの整備など、独自のBCP対策を推進してまいりました。その結果、大規模地震や風水害の際にも、医薬品供給を寸断させることなく迅速な対応を実現しております。さらに、東京都から災害時の広域輸送基地に指定されている京浜トラックターミナル内に高機能な医薬品物流センター「TBC ダイナベース」を擁し、首都直下地震をはじめとする大規模災害の発生時にも、行政や関連機関との緊密な連携のもと、迅速かつ安定的に物資を供給できる体制を整えています。

この度、こうしたBCP連携体制の強化の一環として、自衛隊中央病院にて実施された大規模災害想定の「大量傷者受入訓練」に参加し、医薬品の緊急補給訓練を実施いたしました。当社グループは今後も実践的な訓練を通じて災害対応力を高め、医薬品安定供給に向けたBCPの実効性向上に努めてまいります。

※有事や大規模災害の際に前線や被災地から後送（搬送）されてくる重症傷病者を受け入れ、高度かつ専門的な根治治療やリハビリテーションを行う最上位・最後方の拠点病院のこと

２．医薬品補給訓練の概要

･実 施 日：2026 年 10 月 3 日

･実施場所：自衛隊中央病院（東京都世田谷区）、TBC ダイナベース（東京都大田区）

訓練内容①：緊急医薬品補給要請に基づく医薬品出庫

自衛隊中央病院に大量の傷病者が搬送される事態においては、急激な医薬品需要に伴う在庫不足の発生が懸念されます。本訓練ではこのような有事を想定し、最終後送病院である同病院からの補給要請に基づき、即時供給可能な医薬品の選定および代替薬の提案プロセスを検証いたしました。あわせて、発注要請の受領から出庫・引き渡し準備完了までに要する所要時間を計測し、迅速な供給手順の確認を行いました。

訓練内容②：物流センターから自衛隊中央病院への医薬品輸送

大規模災害発生時は、建物の倒壊や道路の寸断などにより通常の配送ルートが途絶することが想定されます。これに対する実効的な対応策として、高い機動力を持つ自衛隊車両が TBC ダイナベースへ急行し、当センターから自衛隊中央病院まで医薬品を緊急搬送する連携手順の実地訓練を行いました。

以 上